

電波時計（報時付置時計） 取扱説明書

取扱説明書番号 R063-ZXXY

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して時刻を自動修正
- 毎正時にメロディと数取りで時刻をお知らせします
- 暗くなると秒針が止まります

お買い上げありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

発売元 リズム時計工業株式会社

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能ですが、ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お買い上げ製品に関するお問い合わせの際は、製品番号（型番）「4RN403」をお伝えください。

お問い合わせ先 ■お客様相談室 フリーダイヤル ☎0120-557-005
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

(Y0809)





安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


■表示の説明について


表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。


お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

- | | |
|---|---|
|  この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |  この表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |  この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |


■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(マイナス10度)以下になる所。電池性能の低下やプラスチックが劣化することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水をやわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- よごれ落しに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

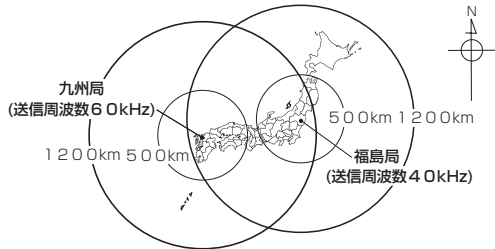
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用はお勧めできません。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

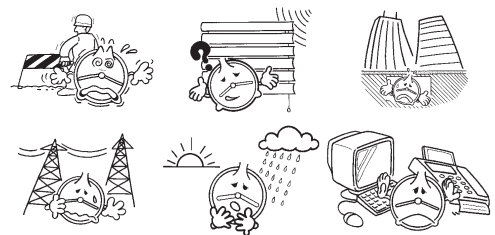


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池で使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう


- プラス+、マイナス-を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 電池を新しくするときは、全部まとめて取り替える。
- 時計が動いていても、定期的に交換する
- 長期間使用しないときは、電池を抜いておく。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かないところに置く。

電池の種類について


- 製品は、電池の特性に合わせて設計されていますので、指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があります。一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。Ⓢ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- 一般に充電式乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例：Panasonic オキシライド乾電池）


取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

-  ●電池に傷をつけたり、分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 時計を使用しないときは電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。


 もれた液に直接手で触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはすし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定にしたがってください。

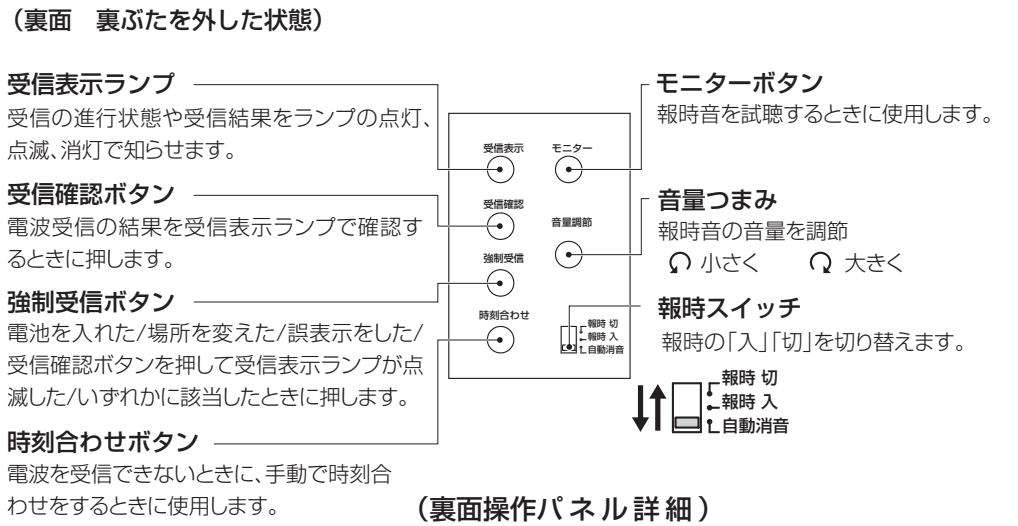
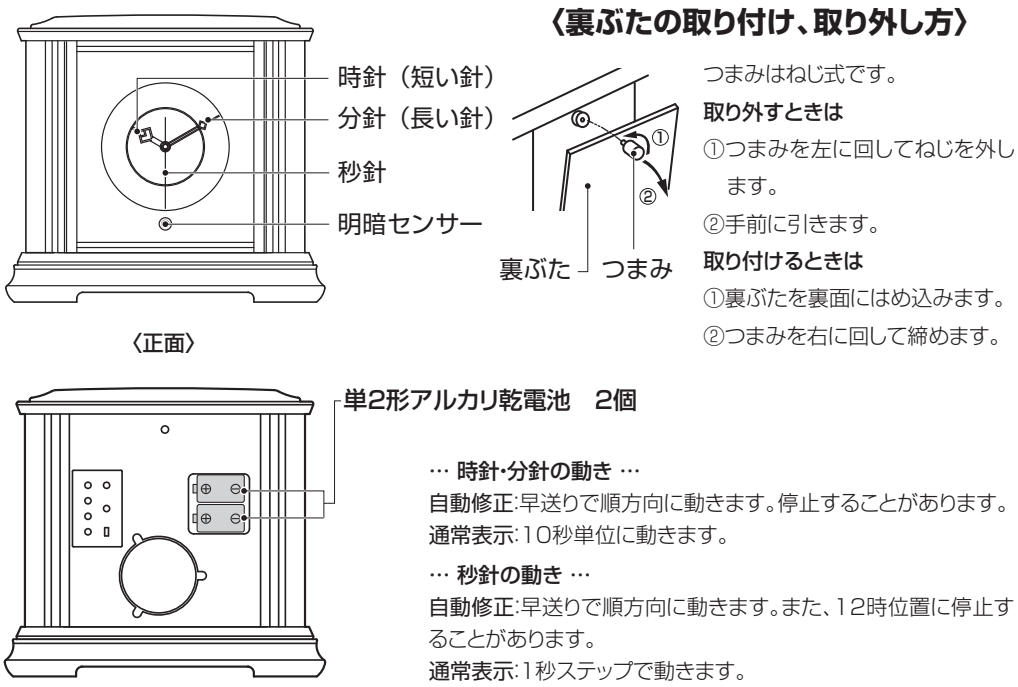
 火に入れると破裂の原因となり危険です。

時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定にしたがってください。

ご使用方法

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



設置について

- 時計の転倒や落下による時計や家具などの破損やけがを防ぐために、水平で振動の少ない安定したところでご使用ください。
- テーブルなどのすり傷などを防止するため、付属の敷き布を使用してください。
 - 磁器は、衝撃や急激な温度変化を与えると、ひび割れや破損することがありますのでご注意ください。万一、ひび割れや破損した場合は「危険」ですので直ちに使用を中止してください。
 - 金彩を施しているものは、性質上長期間使用していると多少変色することがあります。やわらかい布で磨くと、輝きを取り戻します。

Q&A このようなときには

- ⓐ 時計・分針・秒針が反時計回りに動いたり、早送りで針が動いたままになる。
- ⓑ 電池の残量が少なくなると誤動作の原因になります。特に、強制受信ボタンを押したとき、あるいは自動受信したときに発生しやすくなります。このような場合は、新しい電池に交換してください。

電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

- 注意** 電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。
- 時計が止まったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
 - 動いていても1年に1回定期的に交換する。
 - 電池を交換するときは、必ずすべての電池を新しい電池に交換する。
 - 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
 - 電池の⊕⊖を逆に入れない。



おもな製品仕様

自動受信による時刻修正回数は、最少1日1回から最多1日12回まで受信状況により変化します。

▶ 受信成功から72時間以内の場合	1~3回/日
▶ 連続72時間以上受信に失敗している場合	12回/日
▶ 初めから受信に失敗している場合	
▶ 手動で時刻合わせをした場合	

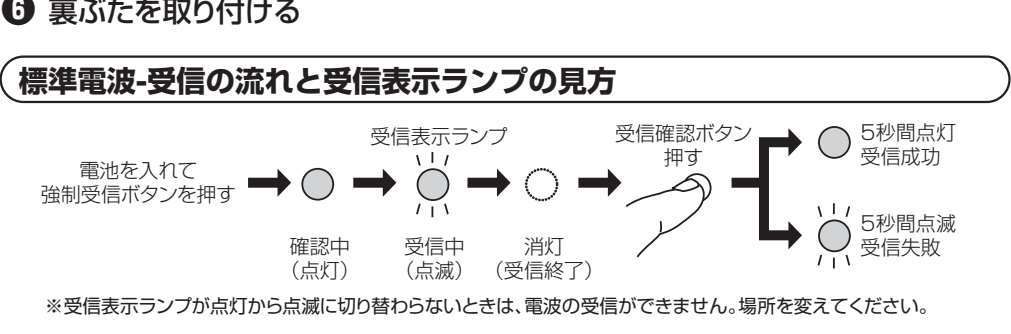
常温での時間精度	受信成功時の表示精度（受信直後）	秒針 ±1秒	時針/分針 目盛りに対して±3度
	受信しないとき	平均月差 ±20秒	（常温中のクォーツ精度）
使用温度範囲	-10℃~+50℃		
使用電池	単2形アルカリ乾電池（JIS規格LR14）2個		
電池寿命	約1年間（標準電波を受信し、1日17回 音量最小で報時を行った場合）		
報時	報時精度：表示時刻に対して±1秒		
	報時スイッチ：入/切/自動消音		
	音量調節		
明暗センサー	暗所において、秒針が12時位置で停止し、報時スイッチが「自動消音」のとき報時停止		

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品	単2形アルカリ乾電池	2個	敷き布	1枚
	保証書	1枚	取扱説明書	本書

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、「標準電波を受信できない場合」の「手動での時刻合わせ」を参照してください。

- ◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。
- 裏ぶたを外す** 〈裏ぶたの取り付け、取り外し方〉参照
 - 音量つまみを左に回して最小の音量にする**
音量を小さくしないと大きな音でメロディが鳴り出すことがあります。
 - すべての電池ホルダーに⊕⊖表示に合わせて電池を入れる**
電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。
 - 強制受信ボタンを押す** 〈標準電波-受信の流れと受信表示ランプの見方〉参照
電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。受信表示ランプが点灯し、受信を開始します。受信は最長で15分程度行いますので、受信表示ランプが消灯し、針が動き出すまで待ちます。
 - 受信結果を確認する**
受信表示ランプが消灯しているのを確認してから、受信確認ボタンを押します。
受信成功：受信表示ランプが5秒間点灯⇒正しい時刻を表示しています。
受信失敗：受信表示ランプが5秒間点滅⇒表示されている時刻は正しくありません。受信に失敗しているときは、「標準電波を受信できない場合」をお読みください。
 ※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
 ※受信表示ランプは受信成功後、約24時間は受信確認ボタンを押すと5秒間点灯します。



報時機能の使い方

- 報時は、時刻に応じたメロディと時刻を電子音の数で知らせます。
 - メロディの曲目は時計本体に表示してあります。
- 報時スイッチの設定**
- 「報時 切」：報時をしません。
 - 「報時 入」：毎正時報時します。
 - 「自動消音」：毎正時報時します。室内が暗くなると自動停止します。
- （明暗センサーのはたらき）をご覧ください。

メロディの試聴と音量の調節

モニターボタンを押すと、時計が示す時刻に対応したメロディを奏で、電子音の数で時刻を知らせます。メロディを奏でている間に、音量つまみを回して音量を調節してください。

※受信状態のときにモニターボタンを押した場合、時刻に対応したメロディを奏でないことがあります。受信が終了すれば正常に戻ります。

※時刻合わせボタンを操作して、正時にしても報時しません。報時音を試聴するときは、モニターボタンを押してください。

明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止します。また、報時スイッチが「自動消音」のときは、毎正時に報時を行いません。昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足すると明暗センサーが反応します。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ざわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせ使用する
屋外などで電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信しないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

- 手動での時刻合わせ
時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
 ※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。
 ※受信に成功すると時刻を自動的に修正します。
- 時刻合わせボタンを押すと、時針・分針・秒針が動き始めます。
 ○時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。
 ○時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。
- 秒針の動きについて**
 時刻合わせボタン押し続けたときは、12時位置に早送り移動してから停止します。秒は、時刻合わせボタンを離れたとき、「0秒」に設定されます。秒針が12時位置に停止していないときは、早送り移動します。